

ジョージ・ソロス：トランプが勝ちつつある、彼は NWO を 破壊しつつある

このグローバリストは、大統領の劇的な人気上昇を恐れている

【訳者注】これをワシントン・ポストに表明したということは、ジョージ・ソロスの事実上の敗北宣言と考えていいだろう。ソロスは、トランプがたった一人で、自分に刃向かったと考えているようであり、その対決に敗れたと言っているように読める。重要なのは、トランプが伝統的な、宗教的な倫理や諸価値をアメリカ社会に引き戻し、ソロスはこれを許せないでいる、ということである。これはトランプとプーチン両大統領の共同作戦と考えて、間違いないであろう。2人の会談に、他のどんな重要な内容が考えられる？

Daniel Newton, www.neonnettle.com

June 22, 2018



ジョージ・ソロスは最近、ドナルド・トランプ大統領が先頭を切る、New World Order の急速な切り崩しに言及して、「失敗する可能性のあったものは、すべて失敗した」と、欲求不満を表明した。

世界中の無数の“カラー革命”を財政援助した、この億万長者グローバリストは、ワシント

ソ・ポストに対し、トランプが流星のごとくに現れることを、彼が見抜けなかったために、「今、自分のバブルの中に生きている」と語った。

ソロス、トランプが、「世界を破壊する意志をもっている」ことを恐れ、大統領が世界中で力を入れるあらゆるものに反対するために、数百万ドルを注ぎ込むことによって、「私の努力を倍増するつもりだ」と誓った。<http://www.neonnettle.com/news/4276-george-soros-attacks-donald-trump-he-s-going-to-destroy-the-new-world-order->

ニューヨーク・タイムズの最近の報道で、ソロスとヒラリー・クリントンは、女性たちに、トランプにレイプされたと訴えるよう買収した。

この報道が広まった後、ソロスは、NYタイムズの300万ドル分の株を買って、この新聞の“ライオンの分け前”を呑み込んだ。<http://www.neonnettle.com/news/4313-george-soros-buys-up-lion-s-share-of-new-york-times-stock>



Zero Hedge の報道によると、このハンガリア生まれ米国人は、そのインタビューで、完全な敗北宣言をするかと予想されたのに、現実には、このような感想を述べたのは、トランプがたった一人の力で、ソロスが何十年もかかって建設した、リベラル・グローバリスト世界秩序を、崩壊させるように指導したということのようだ。

<https://www.zerohedge.com/news/2018-06-21/soros-sorrowful-trumps-revolution-world-affairs-succeeding>

トランプが破壊したのは、米・ヨーロッパ関係の古いパラダイムで、単純でズバリとしたツイート使ったものであり、一方で彼は、アメリカ社会に、キリスト教的モラル、倫理、価値が戻ってくるように音頭を取った。こうしたことは、この無神論の億万長者にとっては、あ

ってはない、呪いの対象である。

ソロスの観点から見ると、トランプは実に世界を破壊しつつある。しかしそれは、いわゆる終末論の意味でなく、彼が「ブッシュ—オバマから」受け継いだものとは違う、完全に新しい世界秩序へ向かっているという意味である。

オバマは、ホワイトハウス内でのソロスの手下ともいえる者だったが、このオバマは、アメリカが、（全部ではないとはいえ）気候変化とか、持続的開発計画といった多くの重要問題について、国連の権威の前に屈するような、世界の建設を目指していた。



彼は、新しい多極的関係を唱えて、国際的な諸関係をいわゆる“一世界政府”に近いものに導こうとしていた。ただ、それはまだかなり間接的な、アメリカの影響下にあるものだった。

これと同時並行的に、オバマ—ソロスのビジョンは、彼らの敵にメディアを向かわせ、将来、何か変化が起こるかもしれないと考えるような者を、「差別主義者、ファシスト、白人至上主義者」などとして、攻撃させることだった。しかし突然、思いがけなくも、トランプがやってきて、彼らのレガシーの解体に取り掛かったのだった。

トランプが築こうとする世界は、「率先精神」で、どこまでもアメリカ一方主義だが、恥ずかしげもなく一極主義に戻ることもある。それは、彼以前のオバマやソロスや他の者たちが犯した、多くの歴史的誤りと彼の考えるものを、修正するものである。彼らはその過ちを無意識的に犯し、転倒した商取引や、他の不公平な契約を通じて、アメリカにハンディキャップを負わせていたと、彼は考えている。

要するに、このグローバルな再調整は、“世界諸事情革命”と呼んでもいいもので、それは

今後のアメリカの政策を導くのに、“新しい思考”が必要になるからである。

——以上